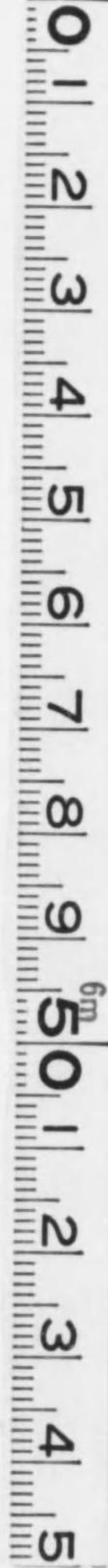


特253

194

海事關係法規便覽補遺

日本郵船株式會社勞働調査編



始



342-552

特253  
194



緒言

去ル昭和五年九月「海事關係法規便覽」ノ編纂發行以來今日迄ノ一ケ年半ノ間ニ於テ、船員ニ關係ナル法規並ニ協定ヲ改訂ヲ見タルモノ及新タニ制定セラレタルモノ、共ニソノ數尠シトセズ。依テ之等ノモノトモニ、猶同書ニ採録スルヲ便宜トスルモノ二三ヲコ、ニ輯メ以テ同書ノ内容完璧ヲ期セントス。

曩ノ便覽トモニ本書ノ活用アラシクコトヲ希望ス。



労働調査

目次

船員職業紹介法施行規則……………一  
(便覽一五四頁乃至一六二頁所載ノモノヲ之ト代ユルコト)  
 入營者職業保障法……………一〇  
 入營者職業保障法施行令……………一一  
 入營者職業保障法ヲ朝鮮、臺灣及樺太ニ施行スルノ件……………一三  
 關東州及南滿洲鐵道附屬地並ニ南洋群島ニ於ケル入營者職業保障ニ關スル件……………一三  
 入營者職業保障法施行規則……………一四  
 入營者職業保障法關係書式……………一六  
 兵役法施行令中改正ノ件……………一八  
 演習召集及簡閱點呼延期願……………一八  
 船員給料協定ニ關スル決議……………二一  
 高級船員標準給料最低月額表改訂……………二三

◎船員職業紹介法施行規則

大正十一年十一月十八日逕信省令第六十五號  
昭和五年十月十六日逕信省令第四十一號ニテ改正(昭和六年一月一日ヨリ施行)

第一章 總 則

- 第一條 本令ニ於テ職業紹介ト稱スルハ就職ノ媒介及求人又ハ求職ノ告知ヲ謂フ
- 第二條 本令ニ於テ所轄管海官廳ト稱スルハ船員職業紹介所ノ所在地ヲ管轄スル逕信局又ハ逕信局海事部出張所ヲ謂フ
- 第三條 逕信大臣ハ船員ノ職業紹介ヲ行フ者ニ對シ業務ノ統一並求人及求職ノ調節ニ關シ必要ナル事項ヲ命ジ又ハ管海官廳ヲシテ命ゼシムルコトアルベシ
- 第二章 無料職業紹介
- 第四條 船員職業紹介法第二條及附則第二項ノ規定ニ依ル許可ヲ受ケムトスル者ハ左ノ事項ヲ記載シタル許可申請書ニ履歴書及戸籍謄本ヲ添ヘ主タル船員職業紹介所ノ所轄管海官廳ヲ經由シ之ヲ逕信大臣ニ提出スベシ
- 一 氏名又ハ名稱、本籍及住所
- 二 船員職業紹介所ノ所在地

三 船員職業紹介所ノ設備、開所豫定年月日  
 四 船員職業紹介ニ關スル諸規程

法人又ハ團體ニ在リテハ前項ノ申請書ニ定款又ハ之ニ準ズベキ約款、事業成績、資産ノ狀況並理事其ノ他ノ代表者ノ氏名、本籍、住所及履歴ヲ記載シタル書面ヲ添附スベシ

逓信大臣ハ必要ナシト認ムルトキハ前二項ニ掲グル書類ノ全部又ハ一部ノ添附ヲ免除スルコトアルベシ

**第五條** 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ニハ船員職業紹介事業ノ經營ヲ許可セズ船員職業紹介所設置ノ必要ヲ認メザルトキ亦同ジ

一 禁治産者及準禁治産者

二 犯罪ニ因リ刑ニ處セラレ改悛ノ狀ナシト認ムル者

三 破産ノ宣告ヲ受ケ復權セザル者

四 其ノ他船員職業紹介事業ヲ行フニ適セズト認メタル者

船員職業紹介事業經營ノ許可ヲ受ケタル者前項各號ノ一ニ該當スルニ至リタルトキハ其ノ許可ヲ取消ス

**第六條** 船員職業紹介事業ヲ行フ者左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ期間ヲ限り事業經營ノ停止ヲ命ジ又ハ事業經營ノ許可ヲ取消スコトアルベシ法人又ハ團體ニ在リテハ理事其ノ他ノ代表者ガ第一號又ハ第二號ニ該當スル場合亦同ジ

一 船員職業紹介ニ關スル法令ノ規定又ハ之ニ基キテ發スル命令ニ違反シタルトキ

二 事業ノ經營上不正ノ所爲アリト認ムルトキ

三 許可ヲ受ケタル後三月内ニ事業ヲ開始セズ又ハ引續キ三月以上事業ヲ休止シタルトキ

**第七條** 船員職業紹介事業ヲ行フ者紹介所ノ所在地若ハ設備ヲ變更シ又ハ紹介所ヲ増設セムトスルトキハ豫メ紹介所ノ所在地又ハ紹介所ヲ増設セムトスル地ヲ管轄スル逓信局長ノ認可ヲ受クベシ

**第八條** 船員職業紹介事業ヲ行フ者ハ遲滞ナク紹介所毎ニ其ノ從業者ノ氏名、住所及履歴ヲ記載シタル書面ヲ所轄管海官廳ニ提出スベシ

**第八條ノ二** 船員職業紹介所從業者紹介所外ニ於テ業務ニ從事スルトキハ船員職業紹介所從業者證票ヲ携帯シ當該官吏又ハ利害關係者ノ請求アルトキハ之ヲ提示スベシ

船員職業紹介所從業者證票ハ第一號書式ニ依ル

**第八條ノ三** 船員職業紹介事業ヲ行フ者ハ所轄管海官廳ニ船員職業紹介所從業者證票ノ交付ヲ申請スベシ

**第八條ノ四** 船員職業紹介事業ヲ行フ者紹介所從業者證票ヲ滅失若ハ毀損シタルトキ又ハ書換ヲ要スルトキハ遲滞ナク所轄管海官廳ニ届出デ其ノ再交付ヲ申請スベシ

船員職業紹介事業ヲ行フ者廢業、死亡又ハ法人ニシテ解散シタルトキハ遲滞ナク紹介所從業者證票ヲ所轄管海官廳ニ返還スベシ

紹介所從業者證票ヲ滅失シタルトキ又ハ之ヲ返還スベキ場合ニ於テ返還セザルトキハ其ノ無効ナルコトヲ官報ニ公

告ス

四

**第九條** 逓信局長ハ船員職業紹介事業ノ經營ニ關シ不適當ト認ムルトキハ船員職業紹介事業ヲ行フ者ニ對シ從業者ノ解任ヲ命ジ又ハ設備ノ改善ニ關シ必要ナル事項ヲ命ズルコトヲ得

**第十條** 船員職業紹介事業ヲ行フ者第四條第一項第四號ノ諸規程ヲ變更セムトスルトキハ所轄管海官廳ヲ經由シ豫メ逓信大臣ノ認可ヲ受クベシ

船員職業紹介事業ヲ行フ者左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ本人(第三號ノ場合ニハ其ノ家族又ハ戶主、第四號ノ場合ニハ其ノ清算人)ヨリ遲滞ナク所轄管海官廳ヲ經由シ逓信大臣ニ届出ヅベシ

一 第四條第一項第一號ニ掲グル事項、定款、約款又ハ理事其ノ他ノ代表者、其ノ氏名、本籍、住所ニ變更ヲ生ジタルトキ

二 廢業シタルトキ

三 死亡シタルトキ

四 法人解散シタルトキ

**第十一條** 左ノ各號ノ場合ニ於テハ船員職業紹介事業ヲ行フ者ハ遲滞ナク所轄管海官廳ニ届出ヅベシ

一 一月以上引續キ休業セムトスルトキ

二 從業者死亡シタルト又ハ之ヲ解任シタルトキ

**第十二條**

船員職業紹介事業ヲ行フ者外國船舶ニ對シ船員ノ職業紹介ヲ爲シタル場合ニ於テ就職者日本人ナルトキハ當該船舶所有者又ハ船長ヲシテ左ノ事項ヲ記載シタル書面二通ヲ作成セシメ乗船前ニ一通ハ之ヲ就職者ニ交付シ一通ハ之ヲ所轄管海官廳ニ差出スベシ

一 船種、船名及總噸數

二 船籍港及就職期間中航行區域

三 船舶所有者及船長ノ氏名又ハ名稱並國籍

四 就職者ノ氏名、年齢、本籍及住所

五 就職者ノ職務、給料及手當ノ額並食料ニ關スル取極

六 乗船地、乗船年月日及就職期間

七 契約ノ解除及終了ノ原因並此等ノ場合ニ於ケル當事者間ノ權利及義務

八 乗船地以外ノ地ニ於テ下船スル場合ノ送還ニ關スル取極

九 其ノ他契約ノ内容ヲ明ニシ得ベキ事項

就職者未成年者ナルトキハ法定代理人ノ就職許可書ヲ徴シ之ヲ管海官廳ニ差出スベキ前項ノ書面ニ添附スベシ

第一項ノ書面外國語ヲ以テ作成セラレタルトキハ日本語ノ譯文ヲ附スベシ

**第十三條**

船員職業紹介事業ヲ行フ者ハ何等ノ方法ヲ以テスルヲ問ハズ事實ヲ虚構シテ船員タルベキコトヲ勸誘シ又

五

ハ勸誘セシムルコトヲ得ズ

六

**第十四條** 船員職業紹介事業ヲ行フ者ハ船員ノ下船又ハ雇傭契約ノ廢棄ヲ勸誘シ又ハ勸誘セシムルコトヲ得ズ

**第十五條** 船員職業紹介事業ヲ行フ者及其ノ從業者ハ求人者又ハ求職者ト金品ノ授受貸借ヲ爲シ、求人者又ハ求職者ニ代リ金品ヲ授受シ又ハ求職者ノ所持スル物品ヲ買受ケ、擔保トシテ受取り若ハ買入賣却ノ周旋ヲ爲スベカラズ但シ豫メ所轄管海官廳ノ許可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

**第十六條** 船員職業紹介事業ヲ行フ者及其ノ從業者ハ左ノ各號ノ一ニ該當スル業務ヲ爲スコトヲ得ズ但シ豫メ其ノ業務ヲ行ハムトスル地ヲ管轄スル逓信局長ノ許可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

一 兩替

二 質屋

三 酒類販賣

四 日用品ノ販賣

五 飲食店・宿泊所其ノ他類似ノ業務

船員職業紹介事業ヲ行フ者及其ノ從業者ハ前項各號ノ業務ヲ爲ス者ト通謀シテ利ヲ圖ルコトヲ得ズ

**第十七條** 船員職業紹介事業ニ従事スル者ハ故ナク其ノ業務上取扱ヒタルコトニ付知得タル人ノ秘密ヲ漏泄スルコトヲ得ズ

**第十八條** 船員職業紹介事業ヲ行フ者ハ正當ノ事由ナクシテ紹介ノ申込ヲ拒ムコトヲ得ズ

**第十九條** 二個以上ノ紹介所ニ紹介ノ申込ヲ爲ス者ハ其ノ旨申出ツベシ

**第二十條** 紹介ハ申込ノ順序ニ依ル但シ正當ノ事由アル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

**第二十一條** 紹介ノ申込ハ申込ノ日ヨリ起算シ管海官廳ノ公示スル期間ヲ經過シタルトキハ其ノ效力ヲ失フ

前項ノ期間ハ申込者ニ於テ之ヲ更新スルコトヲ得此ノ場合ニ於テ申込ノ順序ハ變更セラレルコトナシ

船員職業紹介事業ヲ行フ者ハ申込ノ有効期間滿了前ニ於テ申込ニ對シ期間更新ノ意思ヲ確ムルニ付適當ノ措置ヲ執ルベシ

**第二十二條** 船員職業紹介事業ヲ行フ者ハ求人票及求職票ヲ備ヘ取扱ノ都度遲滯ナク之ガ記入ヲ爲スベシ

就職ノ契約成立シタル者ノ求人票及求職票ハ最後記入ノ日ヨリ三年間之ヲ保存スベシ

求人票及求職票ハ第二號書式ニ依ル

**第二十三條** 船員職業紹介事業ヲ行フ者ハ毎月末ニ其ノ月中ノ記入ニ係ル求人票及求職票ノ寫ヲ紹介所毎ニ取纏メ翌月五日迄ニ所轄管海官廳ニ提出スベシ但シ既ニ提出済ノ求人票又ハ求職票ニシテ記入ニ變更アリタルモノニ付テハ其ノ事項、番號及氏名ヲ届出ヅルヲ以テ足ル

### 第三章 有料又ハ營利ヲ目的トスル職業紹介

**第二十四條** 船員職業紹介法附則第三項ノ規定ニ該當スル者（以下單ニ營業者ト稱ス）其ノ業務ヲ繼續セムトスルト

七

キハ船業職業紹介法施行後二月内ニ紹介所ノ所在地ヲ管轄スル逓信局長ニ許可ヲ申請スベシ  
前項許可ノ申請ニ付テハ未成年者ニ在リテハ法定代理人、妻ニ在リテハ夫ノ連書ヲ要ス

逓信局長第一項ノ申請ニ基キ許可ヲ與フル場合ニ於テハ之ニ期間ヲ附スベシ

逓信局長ハ必要ト認ムルトキハ前項ノ期間ヲ延長スルコトヲ得

營業者ハ第一項ノ許可ノ申請ニ對シ許可ノ決定アル迄其ノ業務ヲ繼續スルコトヲ得

第二十五條 營業者ハ手数料ヲ定メ船員職業紹介法施行後遲滞ナク紹介所ノ所在地ヲ管轄スル逓信局長ニ認可ヲ申請スベシ

逓信局長必要アリト認ムルトキハ手数料ヲ定メ又ハ其ノ變更ヲ命ズルコトアルベシ

第二十六條 營業者ハ求職者ニ手数料ノ半額ヲ超ユル額ヲ負擔セシムルコトヲ得ズ

第二十七條 營業者ハ就職ノ契約成立シタル後ニ非ザレバ手数料ヲ請求スルコトヲ得ズ

第二十八條 營業者ハ手数料ヲ紹介所ニ於ケル見易キ所ニ揭示スベシ

第二十九條 營業者ハ何等ノ名義ヲ以テスルヲ問ハズ逓信局長ノ定メ又ハ認可シタル手数料ヲ超エテ財産上ノ利益ヲ受クルコトヲ得ズ

第三十條 有料又ハ營利ヲ目的トスル職業紹介ニハ本章ニ別段ノ定アル場合ヲ除ク外前章ノ規定ヲ準用ス

第四章 罰 則

第三十一條 船員職業紹介事業ヲ行フ者又ハ其ノ從業者正當ノ事由ナクシテ紹介ノ申込ヲ拒ミ又ハ申込ノ順序ヲ變更シタルトキハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

附 則

本令ハ大正十一年十二月一日ヨリ之ヲ施行ス

第一號書式

第 號	所在地
船員職業紹介所從業者證票	無有料船員職業紹介所名
管海官廳名	印

備 考  
縦 8.3 釐  
横 6.0 釐

第二號書式 (求人票及求職票) (省略)

◎入營者職業保障法 (昭和六年四月一日  
法律第五十七號)

- 第一條 何人ト雖モ被備者ヲ求メ又ハ求職者ノ探否ヲ決スル場合ニ於テ入營(應召ノ場合ヲ含ム以下之ニ同ジ)ヲ命ゼラレタル者又ハ入營ヲ命ゼラレルコトアルベキ者ニ對シ其ノ故ヲ以テ不利益ナル取扱ヲ爲スベカラズ
- 第二條 雇傭者ハ入營ヲ命ゼラレタル被備者ヲ解雇シタルトキ又ハ被備者ノ入營中雇傭期間ノ滿了シタルトキハ其ノ者が退營(入營ノ際行フ身體検査ノ結果歸郷ヲ命ゼラレタル場合ヲ含ム)シタル日ヨリ三月以内ニ更ニ之ヲ雇傭スルコトヲ要ス但シ左ノ各號ニ掲グル事由ノ一ニ該當シタルニ因リ解雇シ又ハ現ニ左ノ各號ニ掲グル事由ノ一ニ該當スル場合ハ此ノ限ニ在ラズ
- 一 被備者が入營ノ日ヨリ陸軍ニ在リテハ二年、海軍ニ在リテハ三年ヲ超ユル期間服役ヲ志願シ採用セラレタルキ
- 二 被備者ガ第二項ニ規定スル通知ヲ爲サズ又ハ雇傭者ヨリ同項ニ規定スル通知ニ於テ勞務ニ就クベキ旨ヲ指定セラレタル日ヨリ故ナク二十日以内ニ勞務ニ就カザルトキ
- 三 被備者ガ疾病又ハ傷痍ニ因リ勞務ニ堪ヘザルトキ
- 四 被備者ガ著シク其ノ職務ヲ怠リタルトキ
- 五 被備者ニ著シキ不良行爲アリタルトキ

六 雇傭ノ目的タル事業ノ廢止、終了又ハ著シキ整理縮少其ノ他之ニ準ズル事由アルトキ

雇傭者及被備者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ前項ニ規定スル雇傭ニ關シ必要ナル事項ヲ相互ニ通知スルコトヲ要ス

雇傭者ハ第一項各號ニ掲グル場合ヲ除クノ外同項ノ規定ニ依リ雇傭シタル被備者ヲ其ノ雇傭ノ日ヨリ三月以内ニ於テ民法第六百二十七條又ハ第六百二十八條ノ規定ニ依リ解雇スルコトヲ得ズ

第三條 前條第一項ノ規定ニ依リ退營者ヲ雇傭スル場合ニ於テ之ニ與フベキ勞務及給與ハ其ノ者ノ入營直前ノ勞務及給與ト同等ノモノナルコトヲ要ス但シ被備者ガ疾病又ハ傷痍ニ因リ入營直前ノ勞務ニ堪ヘザルトキ其ノ他已ムヲ得ザル事由アルトキハ之ト異ル勞務及給與ヲ與フルコトヲ妨グズ

第四條 前二條ノ規定ハ入營ヲ命ゼラレタル被備者ガ解雇セラレザル場合ニ於ケル退營後ノ復職及取扱ニ付之ヲ準用ス

第五條 前三條ノ規定ハ雇傭者ガ常時五十人以上ノ被備者ヲ使用スル場合ニ之ヲ適用ス

第六條 當該官吏又ハ公吏ハ前四條ノ規定ノ施行ニ關シ必要アリト認ムルトキハ當事者ニ對シ勸解ヲ爲スコトヲ得

前項ノ當該官吏又ハ公吏ノ範圍ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第七條 本法ノ適用ニ付テハ國、道府縣、市町村其ノ他之ニ準ズルモノノ被備者ニシテ官吏又ハ公吏ニ準ジ取扱フコトヲ要スル者ニ付勅令ヲ以テ別段ノ定ヲ爲スコトヲ得

附 則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム(昭和六年十月三十日勅令第二百六十號ヲ以テ同年十一月一日ヨリ施行)



◎入營者職業保障法施行令 (昭和六年十月三十日 勅令第二百六十一號)

第一條 入營者職業保障法第六條第二項ニ規定スル官吏又ハ公吏左ノ如シ

一 國ノ被備者ニ關スル勸解ニ付テハ當該被備者ヲ雇傭シタル者ノ直接上級ノ監督官廳又ハ直接上級ノ部局ノ長但シ朝鮮總督、臺灣總督又ハ樺太廳長官ノ雇傭シタル者ニ關スル勸解ニ付テハ朝鮮總督、臺灣總督又ハ樺太廳長官ノ定ムル官吏

二 道府縣又ハ市町村ノ被備者ニ關スル勸解ニ付テハ當該被備者ヲ雇傭シタル者ノ直接上級ノ監督官廳、直接上級ノ部局ノ長、又ハ職業紹介事務局長

三 前二號ノ適用アル場合ヲ除キ船員法ノ適用アル船員ニ關スル勸解ニ付テハ逓信局長 (朝鮮船員令ノ適用アル船員ニ關スル勸解ニ付テハ朝鮮總督府逓信局長) 又ハ船員法第七十九條ノ規定ニ依リ指定セラレタル市町村長、鑛業法ノ適用アル鑛夫又ハ砂鑛業ニ従事スル鑛夫ニ關スル勸解ニ付テハ鑛山監督局長又ハ第四號ニ掲グル官吏若ハ公吏

四 前三號ニ掲グル者以外ノ被備者ニ關スル勸解ニ付テハ地方長官職業紹介事務局長、市町村長又ハ職業紹介所長

第二條 本令中道府縣、市町村又ハ地方長官、市町村長ニ關スル規定ハ道府縣、市町村又ハ地方長官、市町村長ニ準ズルモノニ之ヲ適用ス

附 則

本令ハ入營者職業保障法施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

◎入營者職業保障法ヲ朝鮮、臺灣及樺太ニ施行スルノ件 (昭和六年十月三十日 勅令第二百六十二號)

入營者職業保障法ハ之ヲ朝鮮、臺灣及樺太ニ施行ス

附 則

本令ハ昭和六年十一月一日ヨリ之ヲ施行ス

◎關東州及南滿洲鐵道附屬地並ニ南洋群島ニ

於ケル入營者職業保障ニ關スル件 (昭和六年十月三十日 勅令第二百六十三號)

關東州及南滿洲鐵道附屬地並ニ南洋群島ニ於ケル入營者ノ職業保障ニ關シテハ入營者職業保障法ニ依ル但シ同法中勅令トアルハ關東州及南滿洲鐵道附屬地ニ在リテハ關東廳令、南洋群島ニ在リテハ南洋廳令トス

附 則

本令ハ昭和六年十一月一日ヨリ之ヲ施行ス

◎入營者職業保障法施行規則

(昭和六年十月三十一日內務、陸軍、海軍、逓信省令)

第一條 被備者(入營者職業保障法ノ適用アル被備者ヲ謂フ以下之ニ同ジ)ハ左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ遲滯ナク其ノ旨ヲ書面ヲ以テ雇備者ニ通知スベシ

- 一 入營スベキ期日及部隊定マリタルトキ
- 二 入營ノ日ヨリ陸軍ニ在リテハ二年、海軍ニ在リテハ三年ヲ超ユル期間服役ヲ志願シ採用セラレタルトキ
- 三 傷痍疾病其ノ他ノ事由ニ因リ退營後再ビ雇備セララルコト又ハ復職スルコトヲ希望セザルトキ

第二條 被備者ハ退營豫定期日前三月ヨリ退營後二十日以内(入營又ハ應召ノ際行フ身體検査ノ結果歸郷ヲ命ゼラレタル者竝ニ臨時ニ退營ヲ命ゼラレタル者ニ在リテハ退營後二十日以内)ニ左ノ事項ヲ書面ヲ以テ雇備者ニ通知スベシ

- 一 退營豫定期日又ハ退營シタル日
- 二 退營後再ビ勞務ニ就キ得ベキ豫定期日
- 三 退營後ノ受信場所

被備者前項ノ通知ヲ爲シタル後退營豫定期日ニ變更アリタルトキ又ハ前項第二號及第三號ノ事項ヲ變更スル必要ヲ

生ジタルトキハ遲滯ナク之ヲ雇備者ニ通知スベシ

第三條 被備者ハ左ノ各號ノ一ニ該當スル事由ニ因リ雇備者ヨリ勞務ニ就クベキ旨ヲ指定セラレタル日ヨリ二十日以内ニ勞務ニ就クコト能ハザルトキハ速ニ其ノ事由ノ要旨ヲ書面ヲ以テ雇備者ニ通知スベシ

- 一 疾病ニ罹リ又ハ傷痍ヲ受ケタルトキ
- 二 直系尊屬、妻又ハ直系卑屬ガ死亡シタルトキ又ハ重態ナルトキ
- 三 本人ト同一戸籍又ハ同一世帯内ニ在ル者死亡シ他ニ後始末ヲ爲ス者ナキトキ
- 四 本人ト同一戸籍又ハ同一世帯内ニ在ル者重態ニシテ他ニ看護スル者ナキトキ
- 五 本人ノ住家ノ火災、流失又ハ倒塌其ノ他重大ナル災害ヲ蒙リ他ニ後始末ヲ爲ス者ナキトキ
- 六 其ノ他前各號ニ掲グル事由ニ準ズル己ムヲ得ザル事由アルトキ

第四條 雇備者ハ第二條第一項ノ通知ヲ受ケタルトキハ遲滯ナク左ノ事項ヲ書面ヲ以テ被備者ニ通知スベシ

- 一 再ビ勞務ニ就カシメ得ベキ期日
- 二 入營直前ノ勞務又ハ給與ト異ル勞務又ハ給與ヲ與フル場合ニ於テハ當該事項
- 三 其ノ他必要ト認ムル事項

第五條 雇備者ハ入營者職業保障法第二條、第一項第二號乃至第六號ノ一ニ該當スル事由ニ因リ被備者ヲ解雇シタルトキ又ハ被備者ヲ再雇備シ若ハ復職セシメ得ザルトキハ遲滯ナク其ノ事由ノ要旨ヲ書面ヲ以テ被備者ニ通知スベシ

第六條 雇傭者ハ所轄地方職業紹介事務局長（船員法ノ適用アル船員ニ付テハ所轄逓信局長）ニ對シ遲滯ナク左ノ事項ヲ書面ヲ以テ届出ヅベシ

- 一 被傭者ニシテ入傭ヲ命ゼラレタル者アルトキハ其ノ氏名、住所、勞務及給料
- 二 第四條又ハ第五條ノ規定ニ依リ通知シタル事項

前項第一號ノ届出ニハ事業ノ種類及被傭者ノ總數ヲ附記スベシ

第七條 雇傭者又ハ被傭者ニシテ入傭者職業保障法第十六條ノ規定ニ依リ勸解ヲ求メントスル者ハ入傭者職業保障法施行令ノ定ムル所ノ當該官吏又ハ公吏ニ書面又ハ口頭ヲ以テ申出ヅベシ

附 則

本令ハ入傭者職業保障法施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

◎入傭者職業保障法關係書式

本法に規定せらるゝ諸書類並に届書等には別段書式の定めなければども事務取扱上の便宜のため吾が社に於ては之を二三制定せり、左に一般に最も必要ある被傭者よりの通知書の書式を掲ぐべし

(1) 施行規則第一條第一項第一號ノ通知書式

入 傭（應 召） 通 知 書

私儀昭和 年 月 日ヨリ（入傭部隊名）へ入傭（應召）ノ事ニ相成候ニ付入傭者職業保障法施行規則第一條ニ依リ此段及御通知候也

昭和 年 月 日

本籍地  
現住所  
船名 丸  
職名 給料

氏名

日本郵船株式會社 御中

(2) 施行規則第二條第一項ノ通知書式

退 傭 通 知 書

一 退傭豫定期日 昭和 年 月 日  
（若ハ退傭シタル日）

二 退傭後再ビ勞務ニ就キ得ベキ豫定期 昭和 年 月 日

三 出 勤 豫 定 地

四 退傭後ノ受信場所

右入傭者職業保障法施行規則第二條第一項ニ依リ及御通知候也

昭和 年 月 日

本籍地  
所屬部隊  
入傭前職名及給料

氏名

日本郵船株式會社 御中

◎兵役法施行令中改正ノ件 (昭和六年五月八日 勅令第八十一號)

兵役法施行令中左ノ通改正ス

第七十八條ニ左ノ一項ヲ加フ

陸軍大臣ハ其ノ定ムル所ニ依リ船員ニ限リ本人ノ願ニ依リ寄留地以外ノ徵募區ニ於テ身體検査ヲ受ケシムルコトヲ得

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

◎演習召集及簡閱點呼延期願

船員に於ては切實にこの種の願書々式の必要を感ずるものと思考するを以て左に陸軍召集規則中該當規定を掲載すべし

陸軍召集規則第百十五條

在郷軍人ニシテ避クベカラザル事故ニ因リ演習召集ノ延期ヲ願フ者ハ其ノ事實ヲ證明シ市長又ハ町村長及警察署長ヲ經由シ本籍地ノ聯隊區司令官ニ願出デ許可ヲ受クベシ但シ願書ニハ本籍地ノ市町村長又ハ關係アル官公署ノ長ノ

證明書ヲ添附スベシ

(第二項略之)

第一項ノ規定ニ依ル願書ノ様式左ノ如シ

演習召集延期願 (用紙適宜)

本籍地 府縣郡市町村字番地

徵集年 (下士以上ニ在リ) 役種官等級氏 名

右何年度演習召集ニ召集セラルベキ處 (演習召集ヲ命ゼラレ候處) 別紙 (左記) 理由ニ依リ何年何月何日ヨリ何年何月何日ニ至ル間召集ノ延期許可相成度別紙市町村長 (何々長) ノ證明書相添へ此段及願出候也

年 月 日 右 氏 名 欄

何聯隊區司令官殿

(注意) 一、召集令狀受領後ナルトキハ召集部隊 (必要アルトキハ到着地ヲモ) 到着日時ヲ明示スベシ

二、寄留地應召ヲ許可セラレタル者ナルトキハ其ノ旨ヲ明示シ且本籍地市町村長ニ代ヘ寄留地市町村長ノ證明書ヲ添附スベシ

陸軍召集規則第五十五條

豫備役後備役ノ下士兵卒又ハ第一補充兵ニシテ避クベカラザル事故ニ因リ簡開點呼ノ延期ヲ願フ者ハ其ノ事實ヲ證明シ市長又ハ町村長及警察署長ヲ經由シ本籍地ノ聯隊區司令官ニ願出デ許可ヲ受クベシ但シ願書ニ本籍地ノ市町村長又ハ關係アル官公署ノ長ノ證明書ヲ添付スベシ

(第二項略之)

第一項ノ願書ノ様式ハ第百十五條ノ様式ニ準ズ

◎船員給料協定ニ關スル決議

(昭和六年一月二十三日海事協同會委員會決定)

海事協同會ニ於テ現在實行中ノ船員標準給料中當分ノ間左ノ通り減額ス

一、昭和三年六月八日決定ノ普通船員標準給料最低月額協定各項ニ涉リ左ノ通り減額ス

(イ) 水夫長、火夫長、賄長ハ月額金四圓

(ロ) 其他ハ月額金參圓、但シ給料月額金拾五圓ノ見習ハ此ノ限リニアラズ

二、(高級船員ノ分、後掲改訂表(二三頁)ニ併規セラレアルヲ以テ省略ス)

三、昭和五年七月二十三日決定ノ無線電信技士標準給料最低月額表各項ニ涉リ左ノ通り減額ス

(イ) 給料月額金百二十圓以下ハ月額金五圓

(ロ) 給料月額金百二十圓以上ハ月額金八圓

以上ノ協定ハ昭和六年二月一日ヨリ實行ス、但シ本協定以後二月一日ヨリ二月末日迄ニ始メテ本邦各港ニ入港スル船舶ニアリテハ二月一日及其入港當日ヨリ、其以後ニ入港スルモノハ三月一日ヨリ實行スルモノトス 以上

右の給料減額に基きて、現行の最低給料月額を示さば左の如くなるべし

職名	海上實歴	總噸數自五百噸至一千噸	同自一千噸至三千噸	同三千噸以上
水夫長	八ケ年	六一圓	六六圓	七一圓
火夫長	—	—	—	—
大工	—	五七圓	六二圓	六七圓
舵差人	四ケ年	四七圓	五二圓	五四圓
水夫	二ケ年	三三圓	三五圓	三七圓
火夫	—	—	—	—
石炭夫	二ケ年	三三圓	三五圓	三七圓
給仕	二ケ年	三三圓	三五圓	三五圓

○倉庫番若ハ副汽罐番ノ職ニ從事スル水夫若ハ火夫  
 ○各部見習 手當月額三圓

乗船後 一ケ年未滿 月額 一五圓  
 乗船後 一ケ年乃至一ケ年半 月額 二七圓  
 乗船後 一ケ年半乃至二ケ年 月額 三三圓

無線電信技士給料(月額)

二級主任 總噸數 二千噸未滿 六五圓 總噸數 二千噸以上 七五圓  
 一級主任 總噸數 二千噸未滿 同三千噸未滿・同四千噸未滿 九〇圓 同五千噸未滿 一一〇圓  
 海上實歴六ケ月未滿ノモノハ左ノ如シ  
 二級主任 總噸數 二千噸未滿 五五圓 總噸數 二千噸以上 六五圓  
 一級主任 總噸數 二千噸未滿 六五圓 總噸數 三千噸未滿 七五圓

◎高級船員標準給料最低月額表改訂

高級船員標準給料最低月額表左ノ通り改訂ス  
 (昭和六年四月二十三日海軍協同會第五十六回委員會決定)

遠洋航路又ハ近海航路第二區					
總噸數	職名	船長	一等運轉士	二等運轉士	三等運轉士
二、〇〇〇未滿	馬力	一九〇	一一五	八五	七〇
二、〇〇〇以上	職名	一九〇	一一五	八五	七〇
三、五〇〇未滿	機關長	二二〇	一三五	九五	七五
三、五〇〇以上	職名	二二〇	一三五	九五	七五
一、二〇〇未滿	馬力	一一五	七五	七〇	
一、二〇〇以上	職名	一一五	七五	七〇	
二、〇〇〇未滿	馬力	一三五	九五	七五	
二、〇〇〇以上	職名	一三五	九五	七五	

近海航路第一區					
總噸數	職名	船長	一等運轉士	二等運轉士	三等運轉士
一、〇〇〇未滿	馬力	一四〇	九五	七五	七〇
一、〇〇〇以上	職名	一四〇	九五	七五	七〇
二、〇〇〇未滿	馬力	(甲長) 一九〇 (乙長) 一一五	(甲二) 一〇〇 (乙二) 一五〇	(甲二) 八五〇	七〇
二、〇〇〇以上	職名	(甲長) 一九〇 (乙長) 一一五	(甲二) 一〇〇 (乙二) 一五〇	(甲二) 八五〇	七〇
三、五〇〇未滿	馬力	二二〇	一三五	九五	七五
三、五〇〇以上	職名	二二〇	一三五	九五	七五
四、〇〇〇未滿	馬力	一〇〇	七五	—	—
四、〇〇〇以上	職名	一〇〇	七五	—	—
六、〇〇〇未滿	馬力	一一〇	八五	七〇	—
六、〇〇〇以上	職名	一一〇	八五	七〇	—
一、二〇〇〇未滿	馬力	一五〇	九五	七五	—
一、二〇〇〇以上	職名	一五〇	九五	七五	—

		沿岸航路			
噸數	職名	船長			三等運轉士
		一等運轉士	二等運轉士	三等運轉士	
一、二〇〇〇以上	未滿	二〇〇	一三〇	八〇	七五
一、〇〇〇〇以上	未滿	二二〇	一三五	九五	七五
一、〇〇〇〇以上	未滿	一一〇	八五	七〇	七〇
一、〇〇〇〇以上	未滿	一五〇	一〇〇	八〇	七〇
馬力	職名	機關長	一等機關士	二等機關士	三等機關士
三〇〇〇以上	未滿	一〇〇	七〇	—	—
五〇〇〇以上	未滿	—	—	—	—
七〇〇〇以上	未滿	一一〇	八五	七〇	—

二、七〇〇〇以上	未滿	一五〇	九五	七五	—
二、〇〇〇〇以上	未滿	一二〇	一三〇	七五	七〇

備考

本表ハ最低月額ヲ示スモノナルヲ以テ本表規定額以上ノ契約締結ヲ妨ゲス。尙其後勤績ニ伴ヒ相當増給スベキモノトス

左ノ三條件ヲ併備スルモノニ對シテハ本表ヲ適用セズ

(イ) 有給豫備員制度ヲ含ム社員制度

(ロ) 退職金制度

(ハ) 俸給ト確實ニ計上シ得ベキ給與トノ合計ガ本表規定額ヲ超ユルトキ

附則

本表ノ定額ニ對シ當分ノ間左ノ通り減額ス

(イ) 運轉士又ハ機關士ニシテ給料月額金百貳拾圓未滿ノ者ハ月額金五圓、同百貳拾圓以上ノ者ハ月額金八圓

(ロ) 船舶職員法第一號表ニ依リ乙種一等運轉士免狀又ハ二等機關士免狀ニテ船長、機關長ノ職ヲ執ルモノハ月額



- 金八圓、同乙種船長免狀又ハ一等機關士免狀ニテ船長、機關長ノ職ヲ執ルモノハ金拾圓
- (ハ) 船長又ハ機關長ニシテ給料月額金百九拾圓以上ノ者ハ金拾五圓
- (ニ) 本協定ハ昭和六年五月一日以降新ニ就職スルモノ又ハ職務變更アリタル者ニ限り之ヲ適用ス

昭和七年五月十八日印刷  
昭和七年五月廿二日發行

【非賣品】

編纂者  
發行者

日本郵船株式會社勞働調査

印刷所

芳文社印刷所

東京市下谷區金杉上町八五

終

